

「地域密着型金融」の取組み状況

令和 7 年 4 月 ～ 令和 8 年 3 月

高崎信用金庫

「地域密着型金融」の取組み状況（令和7年4月～令和8年3月）

高崎信用金庫では、令和7年度の重点課題である「お客さま・地域社会の持続可能な未来への貢献」に向けて、重点施策の一つに「地域密着型金融・課題解決型金融の取組強化」を掲げ、以下の各施策を実践してまいりました。これからも、これらの取組みを通じて、「地域に寄り添い、地域で最も信頼される金融機関」を目指し、地域経済、地域社会の活性化に向け、地域金融機関としての社会的使命を果たしていく方針です。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| （１）創業支援の取組強化 | （５）持続可能な地域社会づくりに向けた取組強化 |
| （２）本業支援の取組強化 | （６）事業性評価の一層の深化 |
| （３）経営改善・事業再生支援の取組強化 | （７）顧客階層・顧客ニーズに応じた商品・サービスの充実 |
| （４）事業承継・M&A支援の取組強化 | （８）地域や利用者に対する積極的な情報発信 |

重点施策	具体的な取組み状況	成果（実績）
（１）創業支援の取組強化 （顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮）	・ 創業希望者が創業計画書を作成する際のアドバイスや、創業後間もない方々へのフォロー訪問を実施するなどの創業支援に取り組みました。 ・ 高崎市、高崎商工会議所、および有限責任監査法人デロイトトーマツと連携し、「高崎モーニングピッチ」を開催しました。 ・ 高崎商工会議所主催の「創業塾」に後援しました。 ・ 上毛新聞社主催の「群馬イノベーションアワード(GIA)」にフィナンシャルサポーターとして参加しました。 ・ 地域の未来を担う人材の育成、高崎市の活性化に貢献することを目的に、大学生による「たかしんビジネスプランコンテスト」を開催しました。	・ 創業・新事業支援先数 77先 ・ 3回開催 ・ エントリー数 58件
（２）本業支援の取組強化 （顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮）	・ 本業支援を取引先企業の価値向上に資する取組みと考え、営業店長自ら率先垂範の上、自店の融資取引先および見込み先を効果的に訪問し、深耕開拓、実績把握、経営支援に取り組み、付加価値の高い提案・営業活動を実践しました。 ・ 「事業サポート相談申込書」を活用し、課題解決に向けた支援を行いました。 ・ 販路開拓およびM&A等のソリューション提案の充実に努め、外部専門家、外部専門機関を活用した本業支援に積極的に取り組みました。 ・ 取引先企業の成長をサポートすることを目的とした研修、講演会を開催しました。	・ 事業サポート相談受付 3,124件 ・ 本業支援数 2,259件 ・ 外部専門家活用数 530件 ・ 新入社員研修会（21名） ・ たかしん新世紀クラブ講演会（9月55名、3月45名） ・ たかしん新世紀クラブ視察旅行（16名） ・ 脱炭素経営セミナーの開催（41名） ・ 補助金セミナーの開催（91名）

重点施策	具体的な取組み状況	成果（実績）
（３）経営改善・事業再生支援の取組強化 （顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮）	・ 企業の人手不足に対する取組支援のため、人材紹介事業を開始しました。 ・ 地域事業者の課題解決に向けた取組みとして、外部団体との連携を強化し、効果的なサービス、支援ツールの提供を開始しました。 ・ 資金繰り等に影響が生じた地域の中小企業および個人事業主のお客さまのご相談に応じるため、資金繰り相談窓口を設置しました。 ・ 一般社団法人群馬県中小企業診断士協会や、株式会社船井総合研究所との連携による「たかしん1日巡回経営相談サービス」を実施しました。 ・ 122先を経営改善支援先を選定し、支援活動に取り組みました。 $\text{ランクアップ率} = \text{ランクアップ先 } 5 \text{ 先} \div \text{経営改善支援取組先数 } 122 \text{ 先}$ $\text{経営改善支援取組率} = \text{経営改善支援取組先数 } 122 \text{ 先} \div \text{期初債務者数 } 745 \text{ 先}$ $\text{再生計画策定率} = \text{再生計画策定先数 } 76 \text{ 先} \div \text{経営改善支援取組先数 } 122 \text{ 先}$	・ 有料職業紹介事業の許可取得 ・ 短期人材活用プラットフォーム「シェアフル」 ・ コスト分析サービス「コストドック」 ・ 高速代金割引サービス ・ 副業人材紹介サービス「HiPro Direct」 ・ 建設業界に特化したマッチングサービス「助太刀」「助太刀社員」 ・ 米国の関税措置等に関する資金繰り相談窓口 ・ 年末資金繰り相談窓口 ・ 中東情勢の緊迫化に伴う資金繰り相談窓口 ・ 1日巡回経営相談サービス実施数 Ⅰ型 100件、Ⅱ型 1件 ・ ランクアップ率 4.1% 経営改善支援取組率 16.4% 再生計画策定率 62.3%
（４）事業承継・M&A支援の取組強化 （顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮）	・ 年度当初に定めた「事業承継優先支援先」や事業サポートで事業承継に関する相談を受けた先に対して、企業サポート担当と営業店との協働による事業承継・M&A支援を行いました。 ・ 群馬県事業承継・引継ぎ支援センター、日本政策金融公庫等の専門機関との連携を強化し、国や地方公共団体等の事業承継支援制度を積極的に活用するなど、中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継に向けて、さまざまな支援に取り組みました。	・ 本部と営業店との協働による事業承継・M&A支援訪問件数 331件
（５）持続可能な地域社会づくりに向けた取組強化 （地域の面的再生への積極的な参画）	・ 群馬県の子育て支援事業「ぐんまちょい得キッズパスポート事業」、および未婚化・晩婚化の対応策である「ぐんま結婚応援パスポート事業」に協賛し、住宅・教育ローンに特別優遇金利を適用しました。	・ 子育て支援金利 住宅ローン 1件 100百万円 教育ローン 49件 155百万円

重点施策	具体的な取組み状況	成果（実績）
（６）事業性評価の一層の深化 （顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮）	- 地域の貴重な文化遺産である「上野三碑」の普及推進活動として、上野三碑のPR活動に努めたほか、保全を目的にした活動を実施しました。 - 地域の金融リテラシーの向上のため、地域住民等に対するセミナーや講義を実施しました。 - 取引先企業の事業の内容や成長可能性等を適切に評価し（事業性評価）、地域金融機関として、担保・保証に過度に依存することなく、資金の円滑な供給に努めました。 - 事業性評価を行う際、経済産業省が作成した支援機関と企業との対話ツールである「ローカルベンチマーク」を活用し、取引先企業の課題解決に取り組みました。	- のぼり旗の設置、名刺へのロゴ印刷 - 上野三碑美化活動（多胡碑周辺の清掃活動） - 景況レポートに上野三碑の紹介記事掲載 - 高崎商科大学で、特殊詐欺に関する特別講義を実施 - 夏休みこども金融教室の開催（24名） - 職域セミナーの開催（22回 273名） - 事業性評価に基づく融資実績（令和7年度実績） 与信先数 38先、融資実行額 704百万円 - ローカルベンチマークを示して対話を行い、事業性評価を行った先数 70先
（７）顧客階層・顧客ニーズに応じた商品・サービスの充実 （地域の面的再生への積極的な参画）	- お客さまのカーボンニュートラルに関する取組みを支援するため、商品・サービスを拡充しました。 - 年金相談会、税務相談会を開催しました。 - 年金友の会日帰り旅行を実施しました。 - 取引先企業のSDGsに関する取組みを支援しました。	- たかしん簡易省エネ診断サービスの取扱開始 - 年金相談会（年31回 564名） - 税務相談会（29名） - 第23回年金友の会日帰り旅行（5日間 329名） - たかしんSDGs取組支援サービス支援件数 3件 - たかしん簡易SDGs取組診断サービスの取扱開始
（８）地域や利用者に対する積極的な情報発信	- ディスクロージャー誌やホームページ等を通じて当金庫の経営内容や地域密着型金融の取組み、SDGs、カーボンニュートラルなどに関する情報を発信しました。 - 地域のお取引先企業約450社のご協力のもと、「たかしん景況レポート」を四半期ごとに発行し、高崎地区の景気動向として地域の皆さまに情報提供しました。また、全面リニューアルを行い、より見やすくわかりやすい内容に刷新しました。 - S N Sを活用し、金庫情報および地域・お客さま情報の積極的な発信を行いました。	- 年4回発行 - 景況レポートの誌面を全面リニューアル - 公式インスタグラムを開設 - 情報発信（年間 51件）

重点施策	具体的な取組み状況	成果（実績）
上記重点施策以外の取組み	・「高崎信用金庫SDGs宣言」（令和元年8月制定）に基づき、地域社会の持続的発展に努めています。 ・「たかしん脱炭素化宣言」（令和5年11月制定）に基づき、地域の脱炭素化に向けた取組支援に努めています。 ・「高崎信用金庫環境方針」（平成30年4月制定）に基づき、環境負荷低減活動に取り組んでいます。 ・太陽光発電設備の設置など、店舗の使用電力の一部を再生可能エネルギーに切り替えたほか、環境に配慮した設備を導入しました。 ・二酸化炭素排出削減を推進する商品を取り扱っています。 ・環境に配慮した素材を利用した備品を使用しています。 ・営業用車両に二酸化炭素の排出量が少ない車両を配備しています。 ・クール・ビズ、ウォーム・ビズを実施し、節電に取り組んでいます。 ・e-dash株式会社と契約し、電気・ガス・ガソリンについてCO²排出量を可視化し、排出量削減に取り組んでいます。 ・地域防犯活動 ・地域の犯罪を抑止・防止し、「明るく安全な街づくり」に向けて全営業車（バイク含む）に反射シートを装着し、地域防犯パトロールを実施しています。 ・全店に「さすまた」を配備し、防犯体制を強化しました。 ・振り込め詐欺等特殊詐欺被害未然防止への取組み ・群馬県警察と「金融犯罪対策に係る連携協定」を締結し連携を強化しました。 ・独自に作成した詐欺被害未然防止チラシを活用し、店頭や営業活動で配布して注意喚起を行いました。 ・年金受給日に合わせて全営業店で声掛け運動を実施しました。 ・高崎警察署、高崎Cityライオンズクラブ、高崎地区地域安全運動推進協議会と連携し、特殊詐欺被害防止啓蒙活動を実施しました。	・貝沢支店、井野支店に太陽光発電設備を設置 ・本店・本部棟の電力を再生可能エネルギーに切替 ・新築移転の井野支店においてZEB Ready認証を取得 ・「たかしんミライノトビラ」 ・たかしんビジネス応援団「カーボンゼロ支援資金」 ・「たかしんカーライフプラン」 ・「職域サポートローン（カーライフプラン型）」 ・現金封筒、サービス品袋の一部 ・電気自動車、ハイブリッド車 55台 ・クールビズ期間中のポロシャツ着用 ・令和7年度 CO2排出量850.68（t-CO2e） 前年度対比2.04%増加 ・継続実施中 ・詐欺防止チラシのデザインをリニューアル ・偶数月15日（年金支給日）実施 ・北支店、本店営業部で実施

重点施策	具体的な取り組み状況	成果（実績）
上記重点施策以外の取り組み	・ 地域貢献活動 ・ 「たかしんアートワーク」と題し、地域の文化、芸術の振興を図るため、本店内のギャラリーにてさまざまな企画展を開催しました。 ・ 全営業店で店舗周辺の清掃活動に取り組み、地域の環境保全に努めました。 ・ 高崎市の「アダプトまち美化活動」に賛同し、本店営業部～田町出張所周辺の清掃活動を実施しました。 ・ 「ぐんまマラソン」に協賛し、職員もボランティアおよびランナーとして参加しました。 ・ パスタの街をイメージしたポスターを当金庫の広告に採用するほか、高崎パスタを応援するイベント等に協賛し、「パスタの街・高崎」のPRに取り組みました。 ・ 音楽の街をイメージしたポスターを当金庫の広告に採用するほか、音楽関連のイベントに協賛し、「音楽の街・高崎」のPRに取り組みました。 ・ スポーツ振興による青少年の育成を目的としたスポーツ大会等に協賛しました。 ・ 献血運動を実施しました。 ・ 「しんきん愛の募金活動」を行い、一般社団法人群馬県信用金庫協会を通じ、上毛新聞「愛の募金」へ寄付しました。 ・ 地域の受験生やそのご家庭を応援するため、受験料の払込みをされたお客さまに記念品を進呈しました。 ・ 飲食店や小売店など、お取引先への応援を目的に、各店の取引先情報を庫内で共有し、地元の事業者の利用機会を増やす取り組みを行っています。 ・ 当金庫提供番組のラジオ高崎「たかしんこの街と生きていく」において取引先企業を紹介する番組を作成し、情報発信を行っています。 ・ 食品ロスを減らし、必要とする方へ届ける取り組みとして、役職員を対象にフードドライブを実施しました。	・ 山口薫・富澤秀文師弟展 ・ 群馬書道大賞選考委員・関口虚想先生を偲ぶ展 ・ 山口薫・ゆかりの作家展 ・ 環境ポスター入賞作品展/学校環境活動展 ・ セレクト展 ・ 第29回群馬書道大賞展 ・ 全店一斉クリーンアップ活動（毎月1回実施） ・ たかさきアダプトまち美化活動（3回実施） ・ 職員がボランティア参加（清掃活動） ・ JR高崎駅構内の広告、店外ATMコーナー等にイメージポスター掲示 ・ キングオブパスタに協賛 ・ 高崎ロックフェス、高崎音楽祭等、市内で開催される各種イベントに協賛 ・ 高崎国際オープンに協賛 ・ 群馬ダイヤモンドベガサス主催の少年野球大会に特別協賛として協賛 ・ 献血運動実施（年2回） ・ 上毛新聞「愛の募金」へ寄付 ・ 学業成就ファイルを進呈 ・ 継続実施中 ・ 毎週月曜放送中 番組出演について当金庫Instagramで紹介 ・ 高崎市社会福祉協議会へ寄贈